

国際シンポジウム  
「<sup>い</sup>彝語の世界：  
言語・文字とその世界観」  
特集

獨協大学国際教養学部  
言語文化学科

## はじめに

2017年2月10日、本学部主催の国際シンポジウム「彝語の世界：言語・文字とその世界観」を本学にて開催した。同シンポジウムは、獨協大学国際共同研究「民族伝統文化と多言語教育の実践研究：中国少数民族彝族についての国際共同研究」およびエスニック・マイノリティ研究会との共同主催で行われた。

同シンポジウムの開催趣旨は、登壇者達のこれまでの研究をふまえて、中国少数民族彝族の文化を広く日本社会に紹介するとともに、上記の国際共同研究の研究成果の紹介・分析を行うことである。当日は学内外からの多くの参加者が参加し、活発な議論・質疑応答が行われた（下記開催記録、写真1～4参照）。

## 本特集の構成

本特集は、上記シンポジウムの開催を受けて企画されたものである。本特集に収録された論文等は同シンポジウムにおける研究報告をもとに作成されている。

具体的には、本特集では浅山佳郎教授、飯島一彦教授、佐藤勘治教授、同シンポジウムで報告を行った Juan Carlos Galeano 教授と連携しつつ文章をまとめた本学部非常勤講師の井垣昌氏、および筆者の論文等を収録している。

各論文等の具体的な内容についてはそれぞれの論文自体を参照していただくとして、ここでは国際シンポジウム開催の様子等を、記録の形で示したい。

## 記録：国際教養学部による国際シンポジウム開催報告、写真、プログラム

2017年2月10日、獨協大学にて国際シンポジウム「彝語の世界：言語・文字とその世界観」を開催した。

シンポジウムでは、三部に分けて、中国の少数民族「彝族」の文化や社会、そして彝族が話す「彝語」に関しての研究成果が発表された。

第一部「彝族の社会と文化」では彝族の歴史と社会についての解説に続いて、飯島一彦（獨協大学国際教養学部教授）による「花の歌謡：彝族文化と日本文化」、浅山佳郎（獨協大学国際教養学部教授）による「母語教育としての彝語教育」の二報告が行われた。いずれも獨協大学の国際共同研究における調査成果を示すものであった。続いて関根謙（慶應義塾大学文学部教授）による関連研究報告が行われた。これは関根教授等による（慶應の研究チーム）彝族についての調査・研究の紹介と、その研究成果をふまえて彝族社会についての分析

を示すものであった。

第二部「古彝文経典の世界」では古彝文経典についての解説につづいて、彝族の伝統文化継承者である吉克・依楚（伝統文化継承者）と立克・達曲（伝統文化継承者）による報告が行われた。吉克・依楚は儀礼の実践者の立場から、古彝文経典についての見解を示した。立克・達曲は、訳者の立場から今回シンポジウムで特に紹介した『生育経』の内容についての解説を行った。筆者（獨協大学国際教養学部准教授・松岡格）は、上記国際共同研究の調査・研究成果として、古彝文経典『生育経』についての紹介と学術的分析を行った。

第三部「マイノリティの伝統的知識：比較と討論」では、彝族の事例について比較検討するため、二つの地域についての事例が報告された。村松彰子（相模女子大学人間社会学部専任講師）は「沖縄のシャマニズム」において、沖縄においてシャマニズムを実践する人々をとりあげ、沖縄の文化におけるその実践の重要性を指摘した。もう一つの事例は南米であり、まず佐藤勘治（獨協大学国際教養学部教授）によるアマゾンに暮らす森の民についての解説があった。その内容を受けて、Juan Carlos Galeano（フロリダ州立大学教授）は、自らの調査や詩作の紹介を通じて、森の民から見た世界観、そして人類の未来を展望するにあたってのその重要性を指摘した。

以上のような多彩な報告がなされ、これに対して活発な質疑応答が行われた。



写真1：国際教養学部長古川堅治教授による挨拶



写真2：研究報告の様子



写真3：ピモによるコメント



写真4：シンポジウム開催後、会場にて関係者記念撮影

## 国際シンポジウム「彝語の世界：言語・文字とその世界観」

開催日時：2017年2月10日（金） 10：45～17：15

会 場：獨協大学A棟A306

共同主催：獨協大学国際共同研究「民族伝統文化と多言語教育の実践研究：中国少数民族彝族についての国際共同研究」、獨協大学国際教養学部、エスニック・マイノリティ研究会

### ■プログラム

開会挨拶・主旨説明 10：45～ 挨拶：国際教養学部学部長 古川堅治
第一部 彝族の社会と文化 10：50～ 司会：岡村圭子（本学部教授）
●彝族の歴史と社会についての解説— <u>松岡格</u> （本学部准教授） ○花の歌謡：彝族文化と日本文化— <u>飯島一彦</u> （本学部教授） ○母語教育としての彝語教育— <u>浅山佳郎</u> （本学部教授） ○関連研究紹介— <u>関根謙</u> （慶應義塾大学文学部教授） ●質疑応答
第二部 古彝文経典の世界 13：15～ 司会：松岡格
●古彝文経典についての解説 ○調査成果報告：『生育経』の世界— <u>松岡格</u> ○訳者による『生育経』の解説— <u>立克・達曲</u> （伝統文化継承者） ○儀礼実践者による経典についての解説— <u>吉克・依楚</u> （伝統文化継承者） ●質疑応答
第三部 マイノリティの伝統的知識：比較と討論 15：20～ 司会：松岡格
●関連イベントの紹介— <u>飯島一彦</u> ○比較事例：沖縄のシャマニズム— <u>村松彰子</u> （相模女子大学人間社会学部専任講師） ○比較事例：南米アマゾン、森の民— （解説） <u>佐藤勘治</u> （本学部教授） （報告） <u>Juan Carlos Galeano</u> （フロリダ州立大学教授） 「ヤクマとクルピラ：人新世に捧ぐアマゾンからの想像」
閉会の辞 ～17：15